



アエファ AEFA 通信

アジアの山岳少数民族のための学校建設・日本の学校との国際交流

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

ラオスNGOスタッフによる、交流授業が7校で行われました 「ラオスの学校ってどんなところ・・・？」

静岡県田方郡函南町桑村小の授業では、同校卒業生の石原AEFA理事(50年前の大先輩!)から「がまんするというのを知ってほしい」とメッセージが送られました。通訳は、英語が得意な児童がお手伝いしてくれました。



桑村小/児童とふれあう石原理事

武蔵村山第八小では、子どもたち手作りの会になりました。ノンさんが花のアーチで歓迎を受け、交流校のパチュドンで小学校で、朝早くから畑仕事や朝食作りをする子どもの映像を紹介したり、ラオスのじゃんけんで盛り上がりました。



第八小/ノンさんを花のアーチで歓迎

長野市通明小の授業では、前PTA会長大塚氏が、現地で交流してきたトンコー小の子どもたちの様子をお話してくださいました。最初は緊張気味だった通明小の子どもたちも、ラオスのうさぎのダンスと一緒に踊ると元気百倍。その後の質問コーナーでは、「有名な食べ物はなんですか?」「どうしてラオスっていうの?」など、様々な質問がでました。



ラオスでは、自分の耳をつかめるようになると、学校に行く年齢です

横浜市二俣川小では、児童から『翼をください』の歌が贈られると、感動のあまり涙が止まらないニヤイさんでした。お礼に、ラオスの子どもの手織りの作品を贈呈しました。



通明小/ラオスの踊りを披露



二俣川小/児童の歌に感涙



ラオスの織物を贈呈
「ラオスの子はこんな織物を織ることができてすごい!」とびっくり

4年生が生き物をテーマに交流している目黒区下目黒小の授業では、ラオスの野菜や動物が写真で紹介されました。元気一杯の児童たちにひっぱりだこだったニヤイさん。授業をととても楽しんだそうです。参観されたPTAの方からは、「世界は広いということ、色々な子どもたちがいることに気づいたのでは」との感想でした。



下目黒小
児童から壁新聞の贈り物

品川区杜松小では、「ラオスでは、洗剤の働きをする木の実を使って洗濯をします。ラオスは日本みたいに物はたくさんないけど、森に行けばなんでもあるから、森がスーパーマーケットなのです」とニヤイさんからお話があると、みんなびっくりしていました。



下目黒小/感謝のアーチをくぐる

ケナフの交流をしている江東区毛利小では、ケナフ栽培を児童に指導している関貴与さんも授業に参加。最初は緊張していた子どもたちも、最後にはノンさんと笑顔で握手。英語で「ありがとう」「またきてね」と挨拶していました。また、「ラオスの子は頑張っていて驚いた。えらいなあと思った」と授業の感想を述べていました。



杜松小/歓迎のレイ



毛利小/ラオスのTシャツを贈呈



毛利小/水野校長(左)
関貴与さん(中) ノンさん(右)

「交流授業スケジュール」

7/7(月)	武蔵村山第八小	11:00-11:45
7/7(月)	静岡県桑村小	10:30-11:15
7/8(火)	長野県通明小	10:50-11:35
7/9(水)	横浜市二俣川小	13:30-14:15
7/10(木)	目黒区下目黒小	13:40-15:15
7/11(金)	品川区杜松小	11:30-12:15
	江東区毛利小	10:45-11:30



思い出いっぱい ～ラオスNGOスタッフとの交流会～

前号でお知らせしました、「ラオスNGOスタッフとの交流会」が、7/11に開催されました。

当日は、AEFA友の会会員、ボランティアさん、学校の先生方など総勢20名を超えるみなさんがあたたかく2人を迎えてくださいました。「一番の思い出は？」との質問には、『日本の子どもたちと初めて会えたことです』とノンさん。「ラオスに戻って何を伝えたいですか？」と聞かれると、『ラオスの子が日本の子どものように立派になるように』と、ニヤイさんが力強く答えていました。皆さん、有難うございました！



ニヤイさん ノンさん

ニン・ディー・トン・ハップ=ようこそ ～長野篠ノ井ライオンズクラブ様～

7/7、LCメンバー竹村様のご自宅で、ノンさん・ニヤイさんを歓迎して、「流しそうめん&ジンギスカンパーティー」が開かれました。笹で飾られた竹は、なんと、長野篠ノ井LC様による手作り！2人とも大喜びでした。



日本一の流しそうめん！

翌日行われた交流会では、マジックも飛び出し、メンバーの皆様にも囲まれて2人もとびっきりの笑顔を見せていました。



日本とラオスの国旗の前で記念撮影

新フレンドシップ校決定！

女子美術大学付属高等学校・中学校

女子美術大学付属高等学校・中学校が、タイ・ファイコン小のフレンドシップ校に決定しました。(小田川篤子AEFA顧問によるご紹介)



嶋校長先生(中) 中谷副校長先生(右)

7/23、フレンドシップ協定書がAEFA谷川理事長に託されました。同校は、中谷副校長先生が全国文通教育研究協議会調査研究委員長であることから、30年に亘ってフランスやタンザニアなどの学校と文通を続けています。早速、ファイコンにも美しい絵手紙が約50通、託されました。



生徒さんからの絵手紙



中谷副校長先生から、絵手紙セットをご寄付いただきました

また、画材・教材が不十分なファイコンの子どもたちのために、「これでお返事を描いてくださいね」と、絵手紙セット(60組)が中谷副校長先生からご寄付されました。

島根県浜田市宇野小学校

宇野小は、自然に囲まれた、全校児童9名と小さいけれど、みんながんばりやさんの学校です。「世界を広げよう」と、ベトナム・マンリー小学校との交流が始まります。早速、フレンドシップ協定書と自己紹介カードが届き、ベトナムへスタッフが持参しました。ベトナムのお友達からは、どんなお便りが届くか楽しみです！



北尾校長先生が協定書にサイン

～『第3回 AEFAフォーラム』のおしらせ～

『第3回AEFAフォーラム』が、下記の要領で開催されます。

今年は、外務省NGO担当大使の五月女光弘氏による基調講演のほか、タイ・ベトナム・ラオスから現地パートナーNGOスタッフを招聘。現地の声を交えた事例発表や討議を予定しています。

日時:2008年10月25日(土) 13:00～19:00

場所:味覚糖UHA館 東京(仮)

テーマ:国際教育で学びを深める～フレンドシップ交流を核として～

参加費 2,000円 (但し、資料代・交流会費 各1,000円 として)

(三菱銀行国際財団助成事業)
お問い合わせ/03-6426-0720